

あくせす news

第 278 号
2025 年 8 月 18 日
発行者
呉市医師会病院
地域医療福祉連携室
あくせす



蝉しぐれが降り注ぐ今日この頃、まだしばらく厳しい残暑が続きそうな気配です。『危険な暑さ』や『豪雨』が続き、米や野菜の成長への影響が懸念されます。さて、先生方にはいつも **あくせす** をご利用いただき、ありがとうございます。引き続き一層のご利用・ご紹介のほど、よろしくお願いいたします。

7/18
(金)

身体拘束等適正化のための職員研修 医療安全対策講習会・感染対策講習会

報告

身体拘束等適正化のための職員研修



身体拘束等適正化委員会

加藤 みどり
(4 階病棟棟長)

はじめに「身体拘束等禁止の対象となる具体的な行為」について、写真を用いたわかりやすい説明があり、その後「緊急やむを得ず身体拘束を行う場合」や「身体拘束等禁止の対象とはならない具体的な行為」について説明がありました。身体拘束をせずに安全に医療・看護を行うための取り組みは職員一人ひとりが意識を改め、組織全体で考えていく必要があります。

今後も当院では基本方針にある「患者さん中心の全人的医療を提供します」という理念のもと、身体拘束等は緊急やむを得ない場合を除き、原則として実施しない医療・看護の提供を行ってまいります。

心理的安全性を高めるチーム作り



医療安全管理室

金行 真理子
(副看護部長兼 5 階病棟棟長)

「心理的安全性」とは組織の中で自分の意見や気持ちを誰に対しても安心して発言できる状態を意味します。心理的安全性のメリットやそのためのチーム作りについて、医療現場での具体的な例を交えた説明がありました。

心理的安全性が低く、批判や否定の空気が蔓延している職場では、インシデント報告が抑制される傾向があり、一方、心理的安全性が高まるとインシデント報告を行いやすく、それにより潜在的なリスクの早期発見と解決が可能になります。職員一人ひとりがこの心理的安全性の重要性や有用性を理解し、チームとして構築することが安全で質の高い医療・看護の提供につながることを学びました。

薬剤耐性ってなんだろう？



感染防止対策室

初島 智浩
(薬剤部)

「薬剤耐性（AMR）」とは抗菌薬が効かない、もしくは効きにくくなるなど、抗菌薬に耐性を持つことをいいます。将来的に薬剤耐性に起因する死亡者が増えるといわれており、薬剤耐性菌を増やさないための「薬剤耐性（AMR）対策アクションプラン」について説明がありました。その中の「動向調査・監視」「抗微生物剤の適正使用」について、ペニシリン系・セフェム系・カルバペネム系・ニューキノロン系を中心とした当院における使用状況の推移および特定抗菌薬使用届の必要性について報告がありました。今後も職員一人ひとりが手洗い・手指消毒、咳エチケット、ワクチン接種等の感染対策を意識的に行いながら抗菌薬の適正使用にも努めてまいります。

★ 7 月 1 日～7 月 31 日 ★

※届出日数（一般病床）

平均入院患者数	平均病床利用率	平均在院日数※	紹介外来患者数	医療相談患者数
99.0 人	66.0%	14.4 日	95 人	155 件





Q1.「地域包括ケア病棟」とはどんな病棟？

- ・当院の一般病棟や他の急性期病院などにて、手術等の急性期治療が終了した患者さんに対し、自宅や施設等へ退院されるまでの治療や退院支援を行う、在宅復帰のための病棟です。
患者さんが安心して退院できるよう、医師・看護師・リハビリスタッフ・医療ソーシャルワーカーなど多職種で退院支援および退院後のサポートをさせていただきます。
※6階病棟 41床、7階病棟 42床が地域包括ケア病棟です。

Q2.どんな患者さんが対象？

- ・急性期治療が終了し状態が安定した方で、自宅や施設への退院までもう少し経過観察およびリハビリが必要な方や介護保険や在宅サービスなどの準備が必要な方。
- ・脊椎の圧迫骨折等でリハビリや疼痛コントロールが必要な方。
- ・在宅や施設では治療が困難な方。（肺炎・脱水症・尿路感染症など。）
- ・医療依存度が高い在宅患者さんの介護者支援目的（レスパイト）の入院。

Q3.入院期間はどのくらい？

- ・患者さんの状態によりますが、最長 60 日以内の入院が原則です。
※当院地域包括ケア病棟の昨年度平均入院日数は約 35 日でした。

Q4.入院費用は？

- ・「地域包括ケア病棟入院料1」を算定します。
この入院料には投薬・注射・検査・画像診断・リハビリが包括されます。
（輸血や手術など、一部含まれないものもあります。）



Q5.在宅復帰率とは？

- ・入院患者の退院先として自宅や居住系介護施設等（特別養護老人ホーム・サービス付高齢者住宅・有料老人ホームなど）の割合が在宅復帰率になります。
※当院の地域包括ケア病棟の施設基準は在宅復帰率 72.5%以上です。

Q6.入院依頼はどうすれば良い？

- ・かかりつけ医からの紹介状が必要です。従来通りあくせすにご連絡ください。
お気軽にお問い合わせください。

【お問合せ・お申込み先】

地域医療福祉連携室あくせす TEL (0823) 32-7576 <直通>



呉市医師会病院 関係医師懇談会について

関係医師懇談会は“会員・登録医の先生方と当院勤務医が連携を深める目的”で昭和 62 年から開催している歴史ある会です。去る 7 月 29 日（火）、木村眼科内科病院 副院長の木村 聡先生を講師にお招きし、『全身疾患と関わりの強い眼疾患』と題し、講演をしていただきました。全身疾患と眼疾患の関係について、眼科専門医でなければなかなか知る機会がない症例、かかりつけ医が気を付けるポイントなど、多くのスライドを用いて詳しくお話していただきました。次回は 9 月 30 日（火）を予定しています。詳細が決まり次第、ご案内いたしますので是非会場にご参加のほど、よろしくお願いいたします。

軽食（カレー）をご用意しております



呉市医師会病院 地域医療福祉連携室 あくせす

<http://www.kure.hiroshima.med.or.jp/hp/>

電話 (0823) 32-7576 (直通) 院長 先本 室長 中間 MSW 森下 MSW 菅原 MSW 巻幡
FAX (0823) 32-7507 事務 向井 事務 井上 事務 岩畔 事務 村田